

## 低山はいかい倶楽部 2019年4月報告

【題名】三富新田と三富今昔村くぬぎの森見学(2019.4.24 水曜日)

【場所】東武東上線鶴瀬駅(バス)—三富新田—ケヤキ並木—旧島田家住宅(昼食)—江戸屋弘東園—多福寺—三富今昔村(送迎バス)—西部新宿線新所沢駅

【実施概要】約 300 年前に開拓され現在もその姿を残す三富(さんとめ)新田地区を歩き、茅葺屋根の旧島田家住宅で昼食。その後、多福寺を見学し、産業廃棄物処理の工場に併設される三富今昔村を散策した。

【参加者】FIT12名 友の会1名 計13名

国木田之彦(幹事)、石井誠治、藤田富二、田口農雄、白井操子、小日向礼子、守屋龍男、武田寧、瀬川真治、福田正男、金谷修文、古谷一祐、小勝眞佐枝

【幹事】国木田 之彦

【報告者】小勝 眞佐枝

【本文】

時折パラパラと雨が降るあいにくの天気でしたが、武蔵野台地の土埃が少し抑えられたと、参加者の面々は余裕でした。鶴瀬駅からバスに乗り下組で下車。ケヤキ並木が続く芋街道に着きました。レストランを経営する農家さんの庭を拝借し、柳沢吉保による三富新田の開発法、歴史などについて幹事の国木田さんがレクチャーを行いました。幅6間の道路を通し、両側にそれぞれ屋敷林、畑地、平地林を短冊形に配する開発法です。深井戸が掘られましたが、慢性的な水不足だったようで、風呂に入れず「チガヤ」で垢をこすり取る「カヤ湯」という方法があったとの看板がありました。実際のチガヤを見ながら、穂の部分でこすったのか、茎の部分でこすったのか意見が分かれていましたが、どなたかご存じの方教えてください！

旧島田家住宅の背後に連なる畑地と平地林を見学しました。畑地では、セイヨウアブラナ、コマツナ、キャベツ、ブロッコリー、ダイコンなどがみな花を咲かせていました。昔は燃料、肥料として利用されていた平地林は、やはり現在は荒れていました。

江戸屋弘東園では、さつまいもの「伏せ込み」を見学。暖かい苗床に入れたイモから出る芽を次々と摘んで畑に植え、最終的には4万株も植えるそうです。多福寺の雑木林はよく手入れされており、キンラン、ヒトリシズカなどが花をつけていました。

最後の三富今昔村は、「自然と共生する暮らしとは何か」を五感で学ぶというのがコンセプトです。よく管理された雑木林(くぬぎの森)には、落ち葉溜めやシイタケ栽培が見られ、フデリンドウ、チゴユリ、ツボスミレなどが咲いていました。この林の管理をされている社員さんの一人が、森林インストラクターだそうです。(現在産休中とのことでお会いできませんでした。)ミニ新幹線に乗り、カフェでソフトクリームを食べ、すっかり楽しんでしまいました。

低山はいかい倶楽部は、企画立案、募集、実施、事後報告(保険手続き含む)など、イベントの一連の流れを学ぶ良い機会になります。7月(第4水曜日24日)のイベントがまだ決まっていますので、プランのある方は、担当の瀬川さんまでご連絡ください。よろしく申し上げます。



サツマイモの伏せ込み



多福寺の山門(呑空閣)



キレンゲツツジ(多福寺)



フデリンドウ